



塚原 毅繁
(自民党)

JR 駅西側の LRT 整備計画は

問 29年9月に開催されたLRTの早期着工を目指す市民大会では、駅西側のLRT整備についても、最大限の取り組みを推進するとの大会決議が採択され、市民の期待が高まっている。駅西側へのLRT整備は、にぎわい創出や観光地としての魅力向上などの効果も見込まれる。

答 こうした市民の声を踏まえた駅西側のLRT整備について、その検討状況と、30年度以降の取り組み内容を聞く。

答 29年度には、桜通り十文字付近から西方面への延伸先を複数想定し、利用者数の推計を行うとともに、LRTの導入空間

の確保などの課題把握を行った。

さらに、大通りの勾配箇所において安全に降乗できる停留場の整備手法や交通シミュレーションを繰り返し行うことによる詳細な道路空間の検証など、継続的な検討を要する課題を確認した。

このため、30年度においては、これらの課題について、関係機関との協議を行いながら、多角的な視点から検討を深めるとともに、施設の詳細な調査を新たに実施するなど、駅西側のLRT整備の具体化に向けて取り組んでいく。



▲JR 駅西側大通り

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢(大谷地域の振興など)②本庁舎におけるトイレの洋式化③奈坪川の整備④上下水道事業におけるアセットマネジメントの取り組み⑤中学校の制服⑥時代の変化に対応した人材の育成



金子 武蔵
(自民クラブ)

介護人材不足に対し積極的な対策を

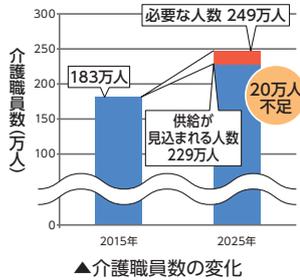
問 厚生労働省の推計値からの計算では、2025年には介護職員が20万人不足する。

多くの自治体が介護職員の人材確保のため、独自に取り組みを行っているが、市の取り組み状況と、これからの急激な介護人材不足に対応するための介護人材確保策は。

答 介護事業所の指定申請時や実地指導の際などに、職員の処遇に関する取り組みの好事例を紹介するなど、雇用の確保や職員の定着に取り組んでいる。また、介護職員の賃金改善を目的とした5段階の介護職員処遇改善加算は、現在、市内の事業所の約90%が取得して

いるが、未取得の事業所に対して、加算取得を促すほか、加算率のより高い区分に変更できるよう、助言・指導を行い、一層の賃金や労働環境の改善につなげていきたい。

引き続き、介護職員の処遇改善のため、介護事業所に、必要な助言・指導を行うとともに、関係団体などと連携を図りながら介護職員が働きやすい職場環境を整え、離職防止や人材確保に努めていく。



その他の質問項目

- ①審議会と懇談会②ドローンの活用③東市民活動センター内の障がい者支援施設等製品販売所設置④教育行政(うつのみや学校マネジメントシステム、ネットいじめ等パトロール・相談業務、全国SNSカウンセリング協議会との連携)



金崎 英美子
(自民党)

児童の健全育成に向けた支援を

問 市では、26年度から養育放棄などの状況にある児童を対象に、家庭的な雰囲気のある居場所を提供し、基本的な生活習慣の習得支援などを行ってきた。

現在、市内の要保護児童約200ケースのうち、この事業の利用で養育環境の改善が見込まれる児童が30名程度いると聞いており、今後も、支援を必要とする子どもたちのために、全国に先駆けたこの事業が継続発展することを期待している。

30年度当初予算において、当該事業費補助金が2施設分として拡充計上されているが、新たな運営団体の確保に向けた現在の取り組み状況と今後のスケジュールは。

答 要支援児童健全育成事業については、現在、市内1か所の施設で、14名の児童に対して支援を提供しており、様々な効果が見られている。

また、関係機関との連携強化により、支援を必要とする児童の把握が一層進み、施設利用のニーズが増加していることから、新たな施設開設に向け、これまで、児童福祉関係団体などに広く働きかけ、受け入れ人数や送迎手段、専門職員の確保など、本事業の実施に関する意見交換を実施してきた。

今後は、30年9月からの新施設開設を目的に、30年度早々に公募ができるよう準備を進めていく。

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢(市にとつての宇都宮大学などの存在意義と共生、峰地区への今後の対応、国際化に向けて)②LRT(市民理解促進の取り組み、車両のデザイン)

